



志木二中だより

「勇気」 前に向かう強い心をもつ生徒

「信頼」 静かに考え他を認め励ます生徒

令和7年度6月号
令和7年6月2日(月)
志木市立志木第二中学校
志木市館 1-3-1
TEL:048-473-2379

「公」の一員として～個として自分ができることを考える～

校長 島村 直人

本校の校舎内には、常時、美術部の生徒たちによる季節に応じた飾りが散りばめられています。入学式の桜も、いつの間にか紫陽花に替わっています。気温もぐんぐん上昇し、夏を意識させられます。

直前まで天気の心配があった体育祭も、最高のコンディションで行うことができました。改めて「本気で取り組むからこそ思い出になる」ということを感じる取組となりました。学校教育全体もそうなのですが、特に学校行事は、「集団の中」で学



び、家庭ではできないとても大事な体

験をするものだと確認できました。また、志木の森学園の小学校の先生方も子供たちの成長を見に応援に駆けつけてくれました。子供たちの頑張りに目を細めて応援してくださいました。これが一貫教育の素晴らしいところだとしみじみと感じています。

さて、6月は運動部の朝霞地区学校総合体育大会の月です。体育祭も終わり大会に向けて各部活動の練習にも益々熱が入ります。部活動は生徒の成長にも大きな役割を果たしていて、集団の中での学びはとても価値あるものと感じています。生徒自身、そして保護者や地域の皆様には部活動の趣旨をご理解いただき、持続可能な部活動実施のためご協力をお願いいたします。

最近、個別最適という言葉をよく耳にします。個性を伸ばす教育は、とても素晴らしいものです。しかし、個性は一步誤ると「我儘」に姿を変えることもあります。「マイ・ルール」「マイ・モラル」に陥ることなく、社会や集団という人とのかかわりの中で、上手に自分を表現・発揮することを訓練しながら学ぶ場が、学校や家庭を含む地域社会です。部活動も同じです。1年生から3年生が同じ目的に向け自身を磨く。その中で他者ともかかわり、互いに高め合う場です。保護者や地域の皆様には部活動の趣旨をご理解いただき、持続可能な部活動実施のためご協力をお願いいたします。

何はともあれ、今年度も順調に教育活動が動き始めています。保護者の皆様の学校に対するご理解・ご協力に心から感謝いたします。学校も教師も完全ではありません。お気づきの点がございましたら何なりとご意見をお寄せください。“子供をよくするため”にお互い知恵を出し合いましょう。変わらぬご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。